

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語能力を有する外国人を対象とした日本語指導者養成】

受託団体名 日本ペルー共生協会

1 事業の趣旨・目的

スペイン語しか理解できないペルーおよびラテンアメリカ出身者および「十分ではないスペイン語(母語)、十分ではない日本語」といったあやふやな環境の中で困っている日本育ちのペルーおよびラテンアメリカ出身者の子どもたちが地域の学校に在籍している。これら子どもの保護者自身は日本の学校制度下での経験がないために言語と学校システムの理解が困難である、という問題を抱えている。

このため、スペイン語圏の文化・言語を理解した上で彼らの出身国と日本との学校制度の違いをスペイン語で説明し、その壁を乗り越えさせる指導が必要である。

日本の学校制度を理解して、学校教育をより理解できる人を増やし、日本および出身国双方の社会に貢献できる人材の育成をめざす。そのために本事業では、「日本の学校文化」と「学校制度で使われている日本語」の両方を学ぶことにより、学校と保護者、子どもをつなぐ役割を果たす人を育てる。

後半は日本語能力があるということと、指導ができるということは異なっているので指導適任者をピックアップして実際の指導のための指導を行う。1回の講習で2回分の指導がイメージできるような指導。カリキュラム、指導案の作成、指導テクニックを教授する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
10月7日	町田市 市民フォーラム	清水貴恵 高橋悦子 川合胤臣 村松新治 アルベルト・パラシオス カレン・ビオレタ	講座の内容、カリキュラム 講師、アシスタント、教材、	担当者の初顔合わせ 細部に関してはメールでのやり取りを決める 各講座の責任者の確認

12月6日	富士見文化会館	清水貴恵 中沢英利子 高橋悦子 川合胤臣 村松新治 アルベルト・パラシオス カレン・ビオレタ ルイス・宮城	前半についての振り返り 後半に向けての打ち合わせ カリキュラムの再検討	講座内でのスペイン語 日本語の使用の確認、 取り上げ項目に関する 再検討 生徒の日本語能力の個人差 に対する対応方法に関する
12月20日	富士見文化会館	清水貴恵 中沢英利子 高橋悦子 川合胤臣 村松新治 アルベルト・パラシオス カレン・ビオレタ	後半スタートに向けた教材、 授業の進め方の確認	講師養成としての授業 準備の内容について



【写真】運営委員会

3 研修講座の内容について

(1) 研修講座名: AJAPE ^{アハペ} 学校生活言語指導者養成講座

(2) 研修の目標:

- ・ 日本の学校制度を母語(スペイン語)で説明し、講師が提供する豊富な実例・データをもとにワークショップ、ディスカッション行う。

- ・ 学校で行われている各種行事の際に使用される日本語や、学校からの「おしらせ」類で使われている日本語を実例をもとにスペイン語で説明し、学校制度のしくみの理解を深める。
- ・ 後半は実際の指導を念頭に成績優秀者を選び指導者トレーニングを行う
- ・ 最終目標は日本の学校で使用する日本語の理解および学校教育の中でもエスニックコミュニティの人たち自身での指導及びエンパワーメントができるようになるように指導を行う。

(3) 受講者の総数 23 人

(4) 開催時間数(回数) 3 時間 (13 回)

(5) 参加対象者の要件: 日本語の読み書きができて日本の学校教育に興味のある人

(6) 受講者の募集方法: スペイン語新聞 IPC の広告、大和市のスペイン語お知らせ、ホームページ、過去のフォーラム参加者にチラシ郵送、口コミ

(7) 研修会場: 大和市富士見文化会館

(8) 使用した教材・リソース: 講師手作りのワークシート、講義用資料、練習問題

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
① 11月1日 9:30～ 12:30	オリエンテーション 自己紹介	桜美林大学講師 清水 貴恵 日本ペルー共生協会 副会長: 高橋 悦子	15名
② 11月8日 9:30～ 12:30	バイリンガル教育について 家庭環境調査票について	横浜市教育委員会(学習 サポーター) 中沢 英利子	18名
③ 11月15日 9:30～ 12:30	日本の学校制度 保健調査票、食物アレルギー	桜美林大学 清水 貴恵	20名
④ 11月22日 9:30～ 12:30	中学校の行事 一日の生活 学校への連絡	厚木市立中学教諭 佐藤 明子 横浜市教育委員会(学習 サポーター) 中沢 英利子	19名

⑤ 11月29日 9:30～ 12:30	小学校の行事 一日の生活 緊急連絡網	大和市立小学校教諭 宇佐美 北穂 桜美林大学 清水 貴恵	18名
⑥ 12月6日 9:30～ 12:30	非言語コミュニケーション 進路、面接について	桜美林大学 清水 貴恵 日本ペルー共生協会 副会長:高橋 悦子	18名
⑦ 12月13日 9:30～ 12:30	前半全体のまとめ	桜美林大学 清水 貴恵	19名
⑧ 12月20日 9:30～ 12:30	親子教室オリエンテーションの打ち合わせ、研修内容の説明	横浜市教育委員会(学習サポーター) 中沢 英利子 日本ペルー共生協会 副会長:高橋 悦子	10人
⑨ 1月10日 9:30～ 12:30	日本の学校行事への理解、日本の祝祭日と伴う行事	横浜市教育委員会 中沢 英利子 日本ペルー共生協会 副会長:高橋 悦子	11人
⑩ 1月24日 9:30～ 12:30	カタカナ表記の学習 学校で学ぶカタカナ (人名、地名、用語)	横浜市教育委員会(学習サポーター) 中沢 英利子	11名
⑪ 2月7日 9:30～ 12:30	漢字の学び方教え方 母国の祝日についての発表	横浜市教育委員会(学習サポーター) 中沢 英利子	9名
⑫ 2月21日 9:30～ 12:30	協働学習への理解 読み聞かせとは	横浜市教育委員会(学習サポーター) 中沢 英利子 日本ペルー共生協会 副会長:高橋 悦子	9名
⑬ 3月14日 9:30～ 12:30	学校で使う言葉 子ども教室を振り返って	横浜市教育委員会 中沢 英利子 日本ペルー共生協会 副会長:高橋 悦子	10名

(10) 講座の評価(以下実際に使用した用紙を使用)

① 受講生に対するアンケート

質問票

Cuestionario

あなたはこの講習が開かれることをどのようにして知りましたか？

番号に印をつけてください。

1	新聞で見た(スペイン語の)	Anuncio en el periódico(IPC)	8人	35 %
2	知り合いから聞いた	A través de conocidos	12人	52.1%
3	AJAPE のチラシを見た	Prospecto de AJAPE	1人	4.3 %
4	AJAPE の Web サイトを見た	Página de Internet de AJAPE	1人	4.3 %
5	その他(具体的に)	Otros(Escriba concretamente)	1人	4.3 %
		(アースプラザで見た)		

計 23人

* 記名で調査

修了時のアンケート

高橋悦子訳

1) En cuanto al tema de hoy(今日のテーマに関して)

- a. Muy bueno とてもよい (8) b. Bueno よい (7)
c. Regular 普通 (0) d. Puede mejorar 工夫が要(0)

2) Le agradeceríamos escribir su impresión o comentario sobre las clases de este curso.(この教室の感想を書いてください)

- ・ とてもよかった。学校の教育制度について学ぶことができたのでよかった。
- ・ とてもよかった。特に小学校の学校生活のことがよくわかった、また中、高校のことも少しわかった。
- ・ クラスはとてもよかったです。相手に学校のシステム等について説明して理解してもらうことがとても難しいと実感しました。
- ・ とてもいい講座だった。保護者にとってもとてもいいオリエンテーションだった。
- ・ ここまでくるのは大変でしたが(群馬から)とても勉強になりました。ふだんスペイン語圏の方と話すことができないし、周りにいないので色々な意見が聞けてとてもよかったです。
- ・ 先生の指導の視点がはっきりしていたのと、具体的な例を出していただけたのでよく理解できた。
- ・ 全体の内容はよかった。発言回数が人によってかなりばらつきがあったものの出席率もよかったと思う。多様な背景の人が参加していたが全体が共有していた教育に関する関心は同じ方向であったと思う。

- ・初めての試みとしてはとてもよかったと思う。
- ・とてもよかった。子ども達の学校では今まで聞いたことのなかった様々な情報を聞くことができてとてもよかった。学校での大切な行事は学期ごとの集まりだと思う。
- ・とてもいいと思う。このコースを通して日本語のバーがあるにしてもそれを乗り越えている人と知り合うことができた。生きていく上で自分は何者であるのかを考える人はその為にたとえ仕事があったとしても時間を割く必要があると思う。素晴らしい経験でした。
- ・とても興味があった。新しいことをたくさん学ぶことができたし、練習することもできた。
- ・とても興味深くダイナミックであった。学校生活に関して多くのことを学ぶことができた。
- ・とてもよかったし興味深かった。
- ・コースの内容がとてもよかった。

3) Le agradeceríamos hacernos algunas recomendaciones o sugerencias para preparar el proximo curso.(次回の参考の為に何かアドバイスかコメントをお願いします)

- ・グループ活動の参加は大切であると思う。この活動によって他の視点から物事を見つめることができる。
- ・「学校に関する保護者のための教室」を開催するのがいいのではないかと、間接的に子ども、直接的には親への支援ができると思う。
- ・模擬授業、実践的なものも取り入れることもいいのではと思います。もっと勉強の内容を深めるために理論について説明した文書を用意したらいいのではないかと。
- ・参加者がコースのアシスタントができるような工夫をしてはどうか。
- ・翻訳の言語はもう少しやさしくわかりやすい言語にしてほしい、スペルミスはしない方がよい。
- ・基本的にみんなが感じる疑問や質問に関して支援できるようなマニュアルがあればいい。
- ・コミュニケーションをとりやすくするために実践練習をもう少し入れてもいいのではないかと考えた。
- ・このようなコースで実際にラテンアメリカの生徒を指導している先生が保護者に対して自分の経験を話すということが大切ではないかと思う。
- ・どのようにして指導すればいいのかということを知りたい。
- ・少人数の場合の指導方法を学びたい。

4) Si hay proximo año este tipo del curso, ¿desea asistir? Sí() No()

またこのような講座があれば参加したいか はい(11) いいえ(0)

¿ En que lugar quiere que haga este tipo del curso?どの地域で講座を行うとよいと思うか

1) Yamato (9) 大和

2) Machida (0) 町田

3) Yokohama(1) 横浜

4) Tokyo (1) 東京

5) Gummma (1) 群馬

6) Otros 他の都市

Fujisawa (藤沢 3), Saitama,(埼玉県本庄市 1)

5)Alguna recomendación para apoyar la educación de los latinos.

ラテンアメリカの人の教育支援のためのアドバイスは。

- ・ 子ども達に母語で日本の教育システムや生まれた国との教育のどこが違うのか、なぜ異なるのかと言うことを説明するといいと思う。
- ・ もっと日本語のクラスを続けて欲しい。聞くことはできるが自分が話すことは難しい。
- ・ 活動をもっと取り入れた授業のほうがもっと良かった。日本国内のラテンアメリカの人たちが多い地域でもこのようなコースを開いて欲しい。私にとってはこの講習会に出席することは距離、時間、交通費などの点でとても大変であったが通うのに値する内容であった。
- ・ 皆様の努力に関して感謝いたします。
- ・ このような日本語クラスを夜間や土曜日、日曜日に開催して欲しい。
- ・ スペイン語圏の人たちのこのようなコースを開催するためにはもう少し宣伝をすればもっと多くの人が参加できると思う。
- ・ スペイン語圏の保護者に対してもっと日本語のコースを開催して欲しい。
- ・ 外国人のための教育の分野で仕事がしたいと思っている。
- ・ スペイン語圏の保護者を支援するということは間接的にその子どもを支援することにつながっていると思う。私達保護者自身が子ども達に対してどのように振舞ったらよいのかということがわからないことがある。これらの小さい疑問の積み重ねが解けることによって子ども達がうまくいくと思う。

② 実施主体からの研修内容結果評価

スペイン語での広告の成果もあり、多様な地域から多様な人材が集まっての養成講座を行うことができた。特に今回は「学校で使用する日本語」ということに限定した。生活言語を入れるとより多様な言語能力の人たちが集まり同じクラスでの運営が困難であろうと判断をして特に当NPOの特徴である「教育」にかかわる部分での日本語ということにこだわった。表面的に日本語が分かるということではなく学校行事そのものの内容や目的などにも踏み込んで説明を行った。このような内容に踏み込むことができたのは参加者に共通言語「スペイン語」ということにこだわり難しい内容に関しては彼らの母語であるスペイン語で説明することにこだわった成果だったからではないかと考える。後半は教室での指導法に関して、あるいは歴史や本の読み聞かせ、協働学習に関しての講義も行ったが、内容はかなり難しく、それぞれが基本的に持っている知識の差もあり、多少消化不良のままであったように思えた。しかし、今後エスニックコミュニティの人に対する影響力を与えてくれるであろう人材の能力向上には役

に立ったと思われる。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

今回提示できたように日本語教育も直接法だけではなくエスニックコミュニティの人材は言語を十分活用して指導できるという方法論の提示となりえたと思われる。言語は表面的な文法指導だけではなく、コミュニケーション能力の向上や実際学校で使用している言語の説明や内容説明の大切さも理解してもらえた。しかし時間的にはまだまだ十分ではなく今後の継続した授業も必要であると思われる。

(11) 事業の成果

(ア) 他事業との連携

地域の教育委員会(大和市、横浜市)で活動できる人材の教育に貢献できたと思う。

(イ) 研修後の人材活用

今回の講座と同時進行した日系人等を活用した親子の日本語教室でのアシスタントティーチャーとして活用ができた。

(12) 今後の課題

まだ結婚していない人、子どものいない人も含めた講座であったが、それぞれが目的意識と興味を持って参加してくれた。日本語能力2級、1級といっても、読んだり話したりすることができるということとその言語を教えることができるということは異なる、ということを改めて知らされた。日本語を知っているということだけではなく、学校現場で指導ができる人材を育てるということに関して、今後も継続して指導していく必要がある。